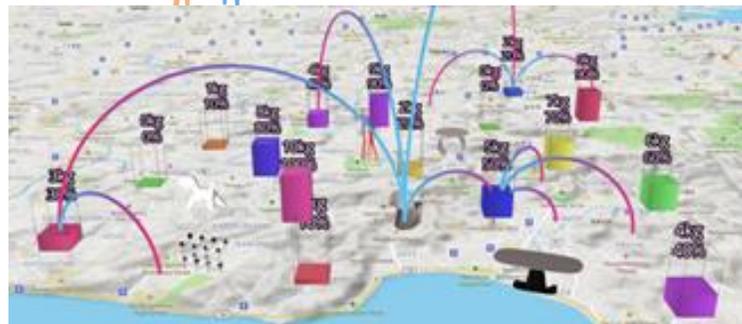


拠点名称：デジタル駆動 超資源循環参加型社会 共創拠点

<p>代表機関</p>	<p>慶應義塾大学</p>	<p>プロジェクトリーダー</p>	<p>田中 浩也 慶應義塾大学 KGRI 環デザイン&デジタルマニユ ファクチャリング創造センター センター長/ 環境情報学部 教授</p>
<p>幹事自治体</p>	<p>鎌倉市</p>	<p>幹事機関</p>	<p>株式会社カヤック</p>
<p>参画機関</p>	<p>(大学等) 関西学院大学、国際大学、ものづくり大学 (企業等) 江ノ島電鉄株式会社、株式会社オカムラ、株式会社ORPHE、花王株式会社、特別認可法人 鎌倉商工会議所、カマコン、キョーラク株式会社、一般社団法人 国際STEM学習協会、JSR株式会社、湘南モルレル株式会社、SOLIZE株式会社、大成建設株式会社、大成ロテック株式会社、デジタルファッション株式会社、東京エコリサイクル株式会社、凸版印刷株式会社、三菱ケミカル株式会社、三菱電機株式会社、ミュージックセキュリティーズ株式会社、株式会社 横浜銀行</p>		

プロジェクトの概要

SDGs未来都市である鎌倉市は「ゼロウェイストかまくら」実現を目指し、減量や資源化の試みを推進してきた。本プロジェクトでは慶應義塾大学が有するデジタルプラットフォーム・IoT・3D製造技術をまちに全面導入し「プラスチック地捨地消」を実現、さらに資源循環の各局面に市民それぞれが参加することを通じて、充実感や豊かさを享受できる新たな社会を共創する。回収状況、材料情報、デザイン案等のデータを蓄積し、その有機的結合をプラットフォームが促すことで、循環のみならず新規ビジネス創出までを先導し、技術と社会制度パッケージからなる「プラスチック地捨地消 鎌倉-慶應モデル」をプロジェクト終了後、国内外へ広く展開する。



「プラスチック地捨地消」デジタルプラットフォームのイメージ